

(対象事業：地域連携強化事業・地域文化資源整備活用事業・ミュージアム支援地域人材育成事業・国際交流拠点形成事業)

事業名：夏休み親子で楽しむワークショップ

事業者名：財団法人佐藤国際文化育英財団・佐藤美術館

住所：東京都新宿区大京町3-1-10

TEL：03-3358-6021

FAX：03-3358-6023

HPアドレス：<http://homepage3.nifty.com/sato-museum/>



連携事業者名：新宿区立四谷第六小学校

会場：佐藤美術館

事業期間：平成21年7月1日～平成21年10月23日

1. 館の使命と本事業の関係

当財団は平成2年より全国の美術大学の学生に奨学育英事業と共に若いアーティストへの支援活動をおこなっている。また、美術館が新宿御苑のほど近く、新宿区立四谷第六小学校の向かいに位置することから今までも学校と連携したワークショップやギャラリーツアーなどの企画をおこなってきた。今後は地域への美術を通じての教育普及活動と若い作家たちへの支援活動の双方を絡めた事業を継続的におこなってゆきたい。本事業は当財団の主旨である若い作家への支援と、美術を通じての地域貢献という意味を併せ持つ。つまり若い作家たちが社会へ接点を持つことで作家の使命の自覚が覚醒すること、同時に若い新しい感性と社会、特に子供たちに良い影響を与えてゆくこと、更には本事業を足がかりに今後新たな団体や学校等の教育機関との連携を目指したい。

2. 企画内容

①事業目的

ワークショップをおこなうことで地域市民のアートへの直接参加を促す。今回は小学校と連携し地域の子供たち向けの普及教育の一助となることを目的とする。講師をつとめる若手アーティストにとっては社会との接点となる現場を実体験してもらうことで多様な要求に答えられるアーティストへの成長を期待している。

②事業概要

新進気鋭のアーティスト2名（大河原典子・呉亜沙）と佐藤美術館学芸員とで独自の大人向けのワークショッププログラムと親子参加が可能なプログラムとを企画した。（1）日本画コース・大人クラスでは絹に岩絵具で自由に描く内容、親子クラスではオリジナル 暑中見舞いはがきをマーブルリング（墨流し）加工後、岩絵具で着色して完成させた。（2）油画コースでは大人クラスでは「生花モチーフ」をデフォルメして描く内容に挑戦した。子どもクラスでは連携先の四谷第六小学校の子どもたちを招待し、アクリル絵具で「生花モチーフ」をデフォルメした。展示室に完成作品を展示後、公開期間を設けて親子、友達と鑑賞できる機会を設けた。

3. 事業実績

(1) 事業の主な内容及び日程

日本画コース	開催日	開催時間	定員	料金（税込み）
親子クラス	7月26日(日)	午後 1時～ 4時	9組(18名)	3,000円(ペア料金)
一般平日クラス	7月29日(水)～7月30日(木)	午前11時～ 5時	18名	7,000円
一般土日クラス	8月 1日(土)～8月 2日(日)	午前11時～ 5時	18名	7,000円

油画系コース	開催日	開催時間	定員	料金（税込み）
子供クラス	8月16日(日)	午後 1時～ 4時	18名	招待（無料）
一般平日クラス	8月18日(水)～8月19日(木)	午前11時～ 5時	18名	7,000円
一般土日クラス	8月22日(土)～8月23日(日)	午前11時～ 5時	18名	7,000円

◇日本画コース

一般クラスは扱いの難しいとされる絹に岩絵具で描きました。
参加者の方の持ち込んだモチーフを絵絹ならではのぼかしやにじみ、
裏彩色といった専門的な技法を駆使して制作しました。
完成後展示室に作品を飾り、講師・参加者による感想交換をおこないました。

親子クラスでは暑中見舞いはがきを
マーブリング（墨流し）で加工後、
自由なモチーフを岩絵具で描きました。
マーブリング加工によって一枚一枚が
オリジナルの暑中見舞いはがきが完成
しました。



四谷第六小学校クラス制作風景

◇油画系コース

一般クラスでは初心者向けの油絵講座としました。
モチーフに生花を用意し、その花を自由に
デフォルメして作品を完成させました。
完成作品は展示室に飾り参加者全員で感想
交換会をおこないました。
四谷第六小学校クラスではアクリル絵の具
で生花モチーフをデフォルメしました。
たくさん描いた花の絵の中から気に入った
一枚を自分で選び絵に合った「題名」を
考えてつけました。



完成作品に「題名」をつけて展示室に飾りました

完成作品は友達や保護者の方にも見ていただけるよう8/18～8/23まで一般公開しました。

(2) 参加者の数

参加者人数	延べ	85	人
内 訳：	7/26(日)	日本画コース（親子）	13 人
	7/29(水)－7/30(木)	日本画コース（一般）	17 人
	8/ 1(土)－8/ 2(日)	日本画コース（一般）	17 人
	8/16(日)	四谷第六小学校	16 人
	8/18(火)－8/19(水)	油画系コース（一般）	12 人
	8/18(火)－8/19(水)	油画系コース（一般）	10 人

(3) 事業により作成した印刷物等

活動報告書「夏休み親子で楽しむワークショップ」200 部

(4) 実施事業に関する新聞記事等

掲載はありませんでした。

4. 事業の成果及び今後の課題（参加者の意見を含む。）

今回の事業では近隣の連携先探しから始まりました。連携が実現した四谷第六小学校以外にも相談をしましたが、日程調整や開催内容に関してなかなか折り合いが付かないことが多くありました。連携先が容易く見つかる、見つからないといったことは館の所在地のロケーションによるところが大きい。またこの組織も計画的に予定を組んでいるので、飛び込みでの相談にはなかなか答えきれないといった感じでした。この点は日頃からの協力・連携体制の強化が欠かせない。四谷第六小学校とは、展示内容が小学生にとってふさわしい場合、ギャラリー見学をおこなったことがありました。今回のワークショップでは鑑賞とは一味違う形で美術館に触れてもらえたと感じる。身近な美術館として様々な年齢層の期待に答えるために今回の事業は成果をあげたと思います。

内容に関しては、講師二人により充実したものが出来たと感じる。参加者からも画材の絹または油絵具といった自分ひとりで学ぶには敷居が高かった画材を使って描くことに充実感を持てただけだ。二日間コースの参加者は初日終了後、二日目までの間に自分の作品をより良くするためにはどうしたらよいのか？ といったことについてたくさんの事柄を考えていた。講師にとっても様々な年齢・目的意識を持った参加者との講義は刺激に満ちていたようだ。様々な現場を体験することで、社会に必要とされる人材と成長していくに違いない。

また、講師・TAの方からお借りした作品は画材・技法の理解を大いに助けてくれた。実物のもつ情報量の多さに、次々と質問が生まれる場面もあり好評でした。要所要所でおこなう講師による実演も動的な内容（手順）を視覚的に学ぶ機会となり、欠かせない内容となった。

記録集の編集～印刷までのプロセスでは、同じ新宿区内の業者を使いました。こういった場面でも新しい出会いがあり、地元を通じたネットワークとして今後も協力関係を発展させていきたい。

四谷第六小学校の麻先生とより踏み込んだ交流が出来たことは大きな成果となりました。

今後は四谷第六小学校だけでなく他館・団体の担当者とも交流の時間を割いて、地域強化

として成果のあがる活動を粘り強くおこなっていきます。

参加者の定員割れに関しては、効果的な広報活動の強化が急務だと感じている。